

光を北方から

令和8年度学校だより第2号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 篠田 佳寿

令和8年7月24日

『1学期を振り返って』

教頭 米 澤 新

今年は、7月に入り夏休みを迎える前まで厳しい暑さが続きましたが、旭盲の子どもたちは元気いっぱい学習や活動に取り組み、1学期の行事を予定通り行い終業式を迎えることができました。

1学期の行事を振り返ると、始業式・入学式からの3か月余り、幼稚部・小学部・中学部の子どもたちは、毎日の学習や活動はもちろんのこと、学校では、運動会や遠足、交流、職場見学、しゃべくりタイム、1日防災学校、寄宿舎では、誕生会や舎友会、お楽しみ会、ランランタイム、絵本の読み聞かせなど様々な行事にも一生懸命に取り組んできました。

運動会では、保護者や地域の皆様のたくさんの温かい応援の中、子どもたちは日頃の練習の成果を発揮して立派に競技をやり遂げました。緊張しながらも競技に挑戦する様子や新しいことに意欲的に取り組んだり仲間と協力したりする姿に、子どもたちが自分のペースで努力しキラッと輝く成長をたくさん見ることができました。また、全校でのダンスや玉入れでは保護者や地域の皆様にもご協力いただきました。子どもたちのことを中心に皆様とともに力を合わせて作り上げる運動会ができましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

中学部の宿泊研修では、美瑛町の青少年交流の家での活動と宿泊を行いました。当日は JR 富良野線の運休に伴い、代替の公共交通機関を乗り継ぎながら頑張って移動し、変更の活動に取り組む生徒の様子が見られました。小学部の宿泊研修では、いつも慣れ親しんだ学校を離れ、旭川市内での活動と初めての泊行事を行いました。

どちらの宿泊研修においても、これまでと違った環境の中で様々な体験的な活動や、実物に触れたりよく見たり聞いたりして確かめながら活動を行いました。また、いろいろな場所での食事の経験や入浴、荷物の整理、就寝準備など生活面の活動についても、普段の学校生活では味わうことができない貴重な機会と成長につながったのではないかと思います。宿泊研修に参加した子どもたちは、最後まで元気に活動に取り組む様子が見られました。保護者の皆様、宿泊研修の準備やご協力どうもありがとうございました。私も引率を通じて子どもたちの活動をより間近で見ることができ、一緒に楽しく充実した時間を過ごすことができました。

1日防災学校では、段ボールベットの組立や煙道体験、避難訓練、非常食についてなど子どもたちの取り組む様子を見ていただきました。子どもたちが体験的な学習を通して、防災についての実践的な学習の充実と合わせて、保護者の皆様と場を共有できたことで防災に対するさらなる意識の高まりにつながりました。

1学期につきましても、皆様のご協力により予定していた教育活動を進めることができましたことに心よりお礼申し上げます。2学期は、文体連札幌大会やどきどきウォークなど学校外での活動が予定されています。1学期同様に普段の学習や学校外での学習において、体験や実感を通した子どもたちの成長を大切にしながら、教育活動を進めてまいります。

明日からは夏休みに入ります。ご家族とともに充実した楽しい夏休みを過ごしてほしいと願っています。ぜひ夏にしか味わうことができないことを無理のない範囲で体験してほしいと思います。そして、2学期に元気な笑顔の子どもたちと会えることを心から楽しみにしています。

「幼稚部・小学部校外学習」

6月19日（金）、幼児児童8名で福祉バスに乗り、「カムイの杜公園」まで校外学習に行ってきました。

現地では、大型遊具を前に目を輝かせ、心地よい汗を流しながら夢中で遊びました。公共の場ということで、マナーを守って楽しく過ごすという大切な学びの機会になりました。体験学習では、「鳴くコップ・冷却材」の2種類の体験をし、作品で遊んだり友達と見せ合ったりしました。休憩時間にはみんなで机を囲み、「一緒におやつを食べよう!」「楽しいね!」と声を掛け合うなど、みんなで心温まる交流が見られました。

集団行動を通じて、友達と活動する喜びや楽しさを感じることができました。日頃の学校生活とは異なる校外学習は、きっと特別な1日になったことと思います。



「小学部宿泊研修」

7月2日・3日、小学部5年生の2名が待ちに待った宿泊研修へ行ってきました。

1日目の旭山動物園では、動物の鳴き声や滝の音に耳を澄ませ、生き物の匂いを感じたり、モルモットに優しく触れたり、五感をたくさん使うなどして、満喫することができました。宿泊先のホテルでは、バイキングでの料理の盛り付けにも挑戦。ふかふかのベッドで友達とゆっくり過ごす時間も特別なものとなりました。

2日目は「あさひかわ北彩都」を散策。遊具で遊ぶほか、小川のせせらぎを聴いたり芝生に寝転んだり、のんびり過ごしました。学校に到着すると、盛大なお迎えに驚きつつも、とても嬉しそうな表情を見せていました。

初めての経験にも果敢にチャレンジし、一回り大きく成長した2日間となりました。



「中学部宿泊研修」

6月25日（木）から26日（金）に中学部2年生1名が美瑛方面へ宿泊研修に行ってきました。

1日目は、乗車予定だったJRが運休となり、急遽バスに変更しましたが、無事に美瑛へと到着することができました。到着後は、四季の情報館を見学し、道の駅びえい「丘のくら」でお土産を購入したり、醤油ラーメンを食べたりしました。その後、白金青い池で景色を眺めました。夕方には国立大雪青少年交流の家に着き、夕食と入浴を済ませ、翌日の活動に備えました。

2日目は、ウォークラリーを行い、地図を片手に自分で方向を確認しながら約1時間15分かけて山道を歩くことができました。また、レザークラフト体験では、レザーに刻印棒を当ててハンマーで叩き模様を作り、色を塗って仕上げることができました。

2日間を通して、新しい体験に取り組み、多くのことを学ぶとともに、大きな成長につながる充実した宿泊研修となりました。



「幼稚部・小学部の様子」

今年度は幼稚部1名、小学部8名の計9名で学習を行っています。季節にぴったりの活動場面も増えてきています。幼稚部では春に苗を植えたトマトの水やりをしています。少しずつ大きくなるトマトの姿を嬉しそうに確かめています。小学部1年生の生活科「花や野菜をそだてよう」では、一生懸命に水やりをして育てたきゅうりを収穫しました。ぐっと引っ張って収穫できたとき、二人は大喜びでした。2、3年生の生活科「夏を楽しもう」では、水遊びを行いました。アヒルのおもちゃを浮かべたり、水に潜ってみたりと、たくさんの笑顔が見られました。4年生の社会科「米づくり体験」では、種から育てた苗をバケツに田植しました。現在は、稲の生育状態を手で触って観察し、成長過程を学んでいます。5年生の生活科「野菜や花を育てよう」では、収穫したズッキーニを手で触れ、立派な生長ぶりに驚きの声を上げていました。今後も、「またやってみたい」と思える学習活動に取り組んでいきたいと思います。



「中学部の様子」

7月に入り、ようやく夏らしい天候が続いてきました。4月に1名の新入生を迎え、今年度は2名でスタートした中学部。職場見学や札幌コンサート、運動会や宿泊研修等、校外での学習が多い1学期でした。

今回は、普段の学習の様子で自立活動について紹介します。

自立活動とは、「障害のある幼児児童生徒が、学習や生活での困難を自分で乗り越えられるようにする力（知識・技能、思考・判断、学びに向かう力等）を育てるための指導」のことで、心身の発達の基盤づくりを目的としています。

内容としては、「1健康の保持」、「2心理的な安定」、「3人間関係の形成」、「4環境の把握」、「5身体の動き」、「6コミュニケーション」の6区分に分かれています。例えば「健康の保持」では、食事や身支度など生活習慣等について。「心理的な安定」では、気持ちのコントロールの対応等について。「人間関係の形成」では、友達との関わり方、ルールやマナー等について。「環境の把握」では、視覚や聴覚の環境調整等について。「身体の動き」では、歩行や日常生活に必要な運動動作等について。「コミュニケーション」では、場や相手に応じたコミュニケーション、ICT 機器などを使ったコミュニケーションの仕方等について。その他にも様々な内容があります。

中学部の生徒は、身だしなみを意識しながらの着替え、信号や車、姿勢等に気を付けながらの歩行練習、地図を確認し、信号や車に注意しながら学校周辺の歩行練習。「5W1H」を意識し、語彙力向上のためのコミュニケーション学習、クイズを交えながら日常生活に必要なマナーの学習など、多岐にわたった学習に毎日取り組み、今後の集団生活や個々が日常生活全般に活かすことができるよう、基礎的な力を積み上げているところです。

2学期は文体連札幌大会や学習発表会など、大きな行事があります。生徒一人ひとりのペースに加え、集団での活動も特に大事にし、充実した学習ができるよう取り組んでいます。よろしくお願いします。



「寄宿舎の様子」

寄宿舎では、子どもたちが楽しく充実した時間を過ごせるよう、さまざまな余暇活動や行事を行っています。「アウルの家」では、地域のボランティアの皆さんによる絵本の読み語りを楽しみ、「ランランタイム」では、音楽に合わせて体育館やグラウンドを自分のペースで走り、体力づくりに取り組んでいます。また、年間5回の行事の一つである7月の「お楽しみ会」では、舎室対抗ゲームで仲間と協力しながら楽しい時間を過ごしました。最後は景品やお菓子を受け取り、会食ではフライドチキンやフライドポテトなどの人気メニューを味わい、笑顔あふれる一日となりました。



「運動会」

6月6日(土)、令和8年度旭川盲学校運動会が行われました。今年のテーマは、「たのしく がんばる きらきら イレブン!」。5月25日から運動会に向けての特別日課が始まり、雨天で室内の練習に変更した日はありましたが、ほぼ予定通り練習をすることができました。当日は気温20度に満たない中でしたが天候に恵まれ、無事にグラウンドで実施することができました。

「記録走」では、練習よりも自己ベストを出す子どもたちが多く、「本番に強い」素晴らしい走りでした。

今年から全校での参加となった団体種目の「もっちとディアーのフォーシーズン」では、子どもたちがフープを跳んだり、平均台を渡ったり、歩行板の上でこぼこ道を進んだり、個別に設定した障害物ゾーンを通過した後、旭盲イメージキャラクターのカードを1枚取り、みんなで完成させていく競技でした。「旭盲イレブン2026」では、得点別3種類のゴールを設置した中から、事前に狙うゴールを申告しシュート。全員が1、3、5点いずれかのゴールに入れました。2つの競技ともに、障害物をクリアする、ボールを蹴るなど、練習の成果をしっかりと出し、幼児児童生徒一人ひとりが活躍しました。

また、地域の皆様に参加していただいた玉入れ、保護者と一緒に行った全校ダンスも、個々に楽しむことができました。参加していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

引き続き、幼児児童生徒の学習を温かく見守っていただきたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。



○お困りのことがございましたら、下記の相談窓口もございます。

主な相談窓口（北海道）		小学生・小学部生用①（令和8年4月）		
名称	所管等	電話番号等	受付	概要
北海道子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 (0120-0-78310) sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。
児童相談所虐待対応ダイヤル	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	189 (いちはやく)	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 (こども家庭庁)		平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
こどもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドライン	認定NPO法人 チャイルドライン ほっかいどう	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

主な相談窓口（北海道） 小学生・小学部生用②				
名称	所管等	電話番号等	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪・児童虐待等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556 (全国共通ナビダイヤル)	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00 (12/29～1/3除く)	様々なこころの悩みを相談できます。
		011-864-1294 (直通) ※札幌市民以外の道民対象	平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	
北海道こころの健康SNS 相談窓口	北海道保健福祉部		平日、土曜日、祝日 18:00～23:30 日曜日 18:00～翌朝6:00	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター 北海道 (SACRACH さくらこ)	NPO法人ゆいネット北海道	050-3786-0799 または、全国共通 ダイヤル#8891	平日10:00～20:00 (土日祝日、12/29～1/3除く)	子どもや大人が性暴力等の被害について相談できます。
		sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp (メール)		LINEでの相談も可 (右の二次元コード) 
北海道ヤングケアラー相談 サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086 (電話)		ヤングケアラーに関する相談ができます。 受付時間 平日 8:45～17:30
		hokkaido.young.carer2022@gmail.com		
		080-9612-1247 (ショートメール専用)		
		facebook.com/hokkaido.young.support (Facebook)		
		@youngcarer2022 (X 旧:Twitter)		

主な相談窓口（北海道） 中学生・中学部生・高校生・高等部生用①（令和8年4月）				
名称	所管等	電話番号等	受付	概要
北海道子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 (0120-0-78310)	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関することなど、様々な悩みを相談できます。
		sodan-center@hokkaido-c.ed.jp		
ほっかいどうこどもライン 相談	北海道教育委員会		令和8年5月18日～ 令和9年3月29日 の月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 5/1～5/12毎日17:00～22:00 8/6～9/16毎日17:00～22:00 1/7～2/1毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	189 (いちはやく)	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 (厚生労働省)		平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
こどもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドライン	認定NPO法人 チャイルドライン ほっかいどう	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

主な相談窓口（北海道） 中学生・中学部生・高校生・高等部生用②				
名称	所管等	電話番号等	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪・児童虐待等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556 (全国共通ナビダイヤル)	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00 (12/29～1/3除く)	様々なこころの悩みを相談できます。
		011-864-1294 (直通) ※札幌市民以外の道民対象	平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	
北海道こころの健康SNS 相談窓口	北海道保健福祉部		平日、土曜日、祝日 18:00～23:30 日曜日 18:00～翌朝6:00	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター 北海道 (SACRACH さくらこ)	NPO法人ゆいネット北海道	050-3786-0799 または、全国共通 ダイヤル#8891	平日10:00～20:00 (土日祝祭日、12/29～1/3除く)	子どもや大人が性暴力等の被害について相談できます。
		sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp (メール)		LINEでの相談も可 (右の二次元コード) 
北海道ヤングケアラー相談 サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086 (電話)		ヤングケアラーに関する相談ができます。 受付時間 平日 8:45～17:30
		hokkaido.young.carer2022@gmail.com		
		080-9612-1247 (ショートメール専用)		
		facebook.com/hokkaido.young.support (Facebook) @youngcarer2022 (X 旧:Twitter)		



